

「ECMO 症例の予後因子の解析」について

- 研究の意義・目的
体外式膜型人工肺（ECMO: Extracorporeal membrane oxygenation）症例は重症循環不全や呼吸不全に対する生命維持法であり、その症例数は近年世界的に増加傾向です。しかし、ECMO 中の管理法についてはいまだに定まったものはなく、日本では海外と使用できる機材や医療資源が異なります。本邦において、ECMO 導入時の予後予測因子と、管理法と予後の関連については未解明のままです。今回私たちは、これを明らかにするため本研究を計画しました。

- 研究対象者
2012年4月4日～2023年3月31日の間に、ECMOプロジェクトに参加している施設で、ECMOによる加療を行われた患者さんを対象とします。

- 研究方法
本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。
カルテから転記する内容は、年齢、性別、バイタルサイン、人工呼吸器設定など、血液検査所見、治療・管理内容、予後等です。（個人が特定出来る情報は転記しません）
ECMOプロジェクトに参加している国内の施設と共同で研究します。（各施設からの情報を集積し解析します）

- 研究期間 2018年6月4日（委員会承認後）～2024年3月31日

- 試料・情報の管理責任者 志馬 伸朗

- 個人情報の保護について
調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5456

広島大学病院 高度救命救急センター・集中治療部

教授 志馬 伸朗（研究責任者）

助教 京 道人（担当者）